

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（自転車歩行者道設置）				
地区名	一般県道 <small>おおだいらおりだいらせん</small> 大平折平線				
事業箇所	<small>とよたしおりだいらちよう</small> 豊田市折平町地内				
事業のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線は、<small>とよたし</small>豊田市の北部に位置し、周辺では宅地開発が進み住民が増加している。 ・当該区間は、<small>おりだいらちよう</small>折平町の宅地開発地域と<small>いしだたみ</small>石畳小学校を結ぶ区間であり、通学路に指定されているが、歩道が設置されておらず、学童が危険な状況となっている。 ・そのため、本事業で自転車歩行者道を設置することにより、沿線住民や歩行者及び自転車、通学路の安全を確保するものである。 				
事業目標	【達成（主要）目標】 ① 歩行者及び自転車の安全確保 ② 通学路の安全強化 【副次目標】 —				
計画変更の推移		事前評価時 (H25)	再評価時 (H29)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 25 年度 ～平成 29 年度	平成 25 年度 ～平成 34 年度	関係機関との調整難航によるもの	
	事業費（億円）	3.0	3.7	—	
	経費 内訳	工事費	2.2	2.5	構造の見直しによるもの
		用補費	0.5	0.5	—
		その他	0.3	0.7	事業費精査によるもの
事業内容	自転車歩行者道設置工 延長 L=600m 幅員 W=3.5m	自転車歩行者道設置工 延長 L=600m 幅員 W=3.5m	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通学路となっているが、歩道が設置されていないため、学童を含む歩行者等の安全が確保されていない。 ・当該区間の周辺では宅地開発が進んでおり、本路線の利用者の増加が見込まれる。 【再評価時の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通学路となっている状況は変わらない。 ・周辺の宅地開発も進んでおり、本路線の利用者の増加が見込まれる状況は変わらない。 【変動要因の分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺状況や交通状況等に大きな変動はなく、歩行者及び自転車の安全確保が必要である。 			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。		
		【理由】 歩行者等の安全確保の必要性は変わらず、事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がないため。			

1) 進捗状況	【事業計画及び実績】																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事 ・自転車歩行者道設置工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="5">3.0</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">0.5</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="5">0.5</td> <td colspan="6">3.2</td> </tr> </tbody> </table>			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	工種 区分	調査・設計	←										用地補償						←					工事 ・自転車歩行者道設置工								←		→	事業費 (億円)	前回計画	3.0											実績	0.5											今回計画	0.5					3.2						
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34																																																																									
工種 区分	調査・設計	←																																																																																			
	用地補償						←																																																																														
	工事 ・自転車歩行者道設置工								←		→																																																																										
事業費 (億円)	前回計画	3.0																																																																																			
	実績	0.5																																																																																			
	今回計画	0.5					3.2																																																																														
【進捗率】																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成状況(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.6</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.6</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>17%</td> <td>3.7</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>2.2</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>2.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> <td>167%</td> <td>0.7</td> <td>71%</td> </tr> </tbody> </table>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成状況(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.6	0	0%	0.6	0%	事業費(億円)	3.0	0.5	17%	3.7	14%	工事費	2.2	0	0%	2.5	0%	用補費	0.5	0	0%	0.5	0%	その他	0.3	0.5	167%	0.7	71%																																											
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																	
	計画【①】	実績【②】	達成状況(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																
延長(km)	0.6	0	0%	0.6	0%																																																																																
事業費(億円)	3.0	0.5	17%	3.7	14%																																																																																
工事費	2.2	0	0%	2.5	0%																																																																																
用補費	0.5	0	0%	0.5	0%																																																																																
その他	0.3	0.5	167%	0.7	71%																																																																																
【施工済みの内容】																																																																																					
・歩道整備に係る設計を実施。																																																																																					
②事業の進捗状況及び見込み	2) 未着手又は長期化の理由	・当該事業箇所と交差する折平川 <small>おりだいらがわ</small> の砂防事業との調整や地元と調整に時間を要したため。																																																																																			
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 折平川の砂防事業との調整や地元と調整に時間を要した。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期化の原因となった砂防事業との調整は概ね完了し、平成30年度より用地買収に着手予定である。地元からは通学路の安全確保について強い要望もあり、事業への反対はないため、一定時間を要すれば用地買収できると考える。 事業費ベースでは14%の進捗率であるが、平成30年度より用地買収に着手予定である。今後は用地交渉を進め、平成34年度の完成を目指す。 																																																																																			
	判定	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																			
【理由】																																																																																					
・用地交渉に時間を要することが想定されるが、事業への反対はなく、平成34年度の事業完了が見込まれるため。																																																																																					
III 対応方針																																																																																					
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。																																																																																				

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

事業実施前後の交通状況、歩行者等及び通学路の安全性の変化。